

継続的な変革を推進するリーダー人財の育成

IBM Management Development Service

IBMでは、創業当時から「個人の尊重」を基本的信条に掲げ、会社の成長とともに個人の成長を支援する環境作りに取り組んできました。その姿勢は「教育に飽和点はない」という社内標語として、今も着実に息づいています。

またルイス・ガースナー IBM前会長は「企業は文化なり」と語り、その文化は企業の各組織の「風土」で構成されると考えました。健全な組織風土を形成し、組織の力を最大化するためには、組織を率いるライン・マネジャーの育成が不可欠です。そこでIBMでは、ライン・

マネジャーを対象としたリーダーシップとピープル・マネジメント力の開発に、特に力を注いできました。

IBM Management Development Serviceは、このIBM自身のノウハウと実績を基に、お客様企業におけるリーダー育成をご支援するサービスです。

人財育成体系の策定から具体的プログラムの企画・実施・評価までを一貫してご提供するIBMの人財育成サービスを、「リーダー人財の成長」と「人が育つ会社への変革」の実現のために、ぜひご活用ください。

リーダー人財育成に関する課題

現在ほどリーダーシップ論が多く語られ、社会から真のリーダーが期待されている時代はありません。

ビジネスの分野においても、組織力を最大化すると同時に、脈々と流れる自社の「イズム」や「DNA」、目指すべき「理念」、価値観を社員と共有できるリーダーの育成は、業種や規模を問わず、どの企業にとっても急務といえます。

リーダー育成において多くの企業に共通する課題としては、次のような点が挙げられます。

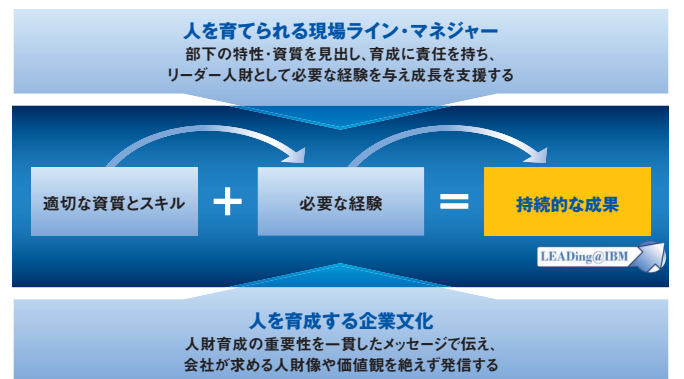
- 管理職に求められる人材要件が変化し、企業変革を推進するリーダー人財の育成が急がれている。
- 企業合併や変革に伴い、ミドルマネジメントを核とする、経営理念の浸透や成長に向けての風土改革が必要である。
- 就業人員構成の高齢化が進む中、持続的成長を支える若手リーダーの育成が急務である。
- 企業のグローバル化が進行する中で、グローバルの視点で発想し、行動できるリーダー人財を育成する必要がある。

IBMが考えるリーダー人財育成の成功要因

IBMのリーダー人財育成体系である“LEADing@IBM”では、持続的に高い業績を挙げるリーダー人財の育成には「適切な資質とスキルを持った人財を選抜・育成し、成長のために必要な経験を適切なタイミングで与えることが必要である」と定義しています。

リーダー人財育成の仕組みを効果的に運用するには、人を育成する企業文化の醸成と、現場で人を育てられるライン・マネジャーの配置が必要です。人を育てられる現場ライン・マネジャーとは、組織のビジネス成果を挙げると同時に、企業の未来のため、長期的視点で部下を育成する責務を全うできる人財です。

言い換えれば、企業文化継承の中核をなし、将来のリーダー人財育成の要となる存在、それが現場ライン・マネジャーです。



IBMのリーダー人財育成サービスのポイント

自社自身のビジネスのため、よい会社を創り上げるために、IBMは長い時間をかけて人を育て、その結果、多くの人財を世に輩出してきました。その経験や知的資産を、お客様企業においてご活用いただけます。

- IBM自身の実業のために開発した育成体系（若手～エグゼクティブ）およびプログラム群の活用
- リーダー人財輩出企業としての企業文化・制度・施策をベースにした、人が育つ企業に向けての総合的な支援

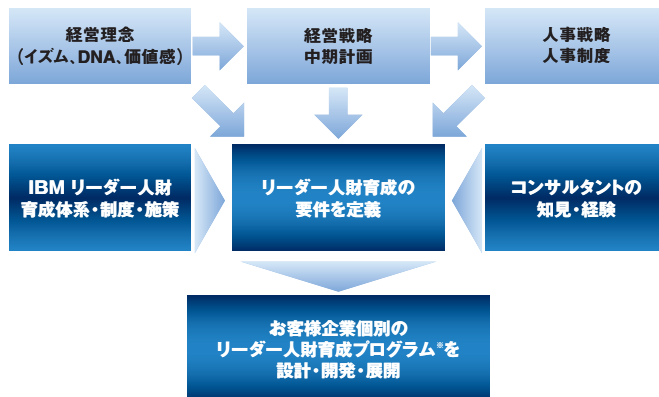
- ビジネス成果を挙げる育成施策および育成プログラムの、企画・実施・評価の仕組みづくり
- 全世界のラーニング・プロフェッショナルによる、ソリューションのグローバル展開

人の成長と、人を育てる会社への変革に向けてIBM自身が実践し他社にも展開してきた経験と実績によって、お客様企業のリーダー人財育成を総合的にご支援します。

IBM Management Development Serviceの概要

IBM Management Development Serviceでは、各お客様企業の経営理念/経営戦略/人事戦略等を基に、その企業に求められる人財像を定義し、お客様企業に最適なリーダー人財育成プログラムを設計・開発・展開していきます。このアプローチの過程で、IBM自身がグローバルで活用している育成体系や、リーダー人財輩出企業としてのノウハウを生かすと同時に、多くの企業でリーダー人財の育成に携わってきた経験に基づくコンサルタントの知見を活用します。

さらに、これらのノウハウやコンサルティングの活用に加え、IBM Management Development Programという実績あるプログラムをカスタマイズしてお客様企業個別の育成プログラムを構築します。これにより、付加価値の高い育成施策を早期に展開することが可能になりました。



※ 育成プログラムはIBM Management Development Programをベースにカスタマイズ

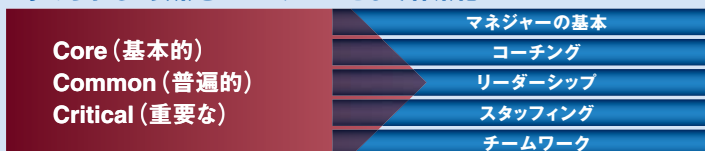
IBM Management Development Programの概要

お客様企業ごとに個別に開発するリーダー人財育成プログラムは、IBM社内で活用されているマネージャー育成プログラム、IBM Management Development Programをベースにカスタマイズを行い、ご提供するものです。

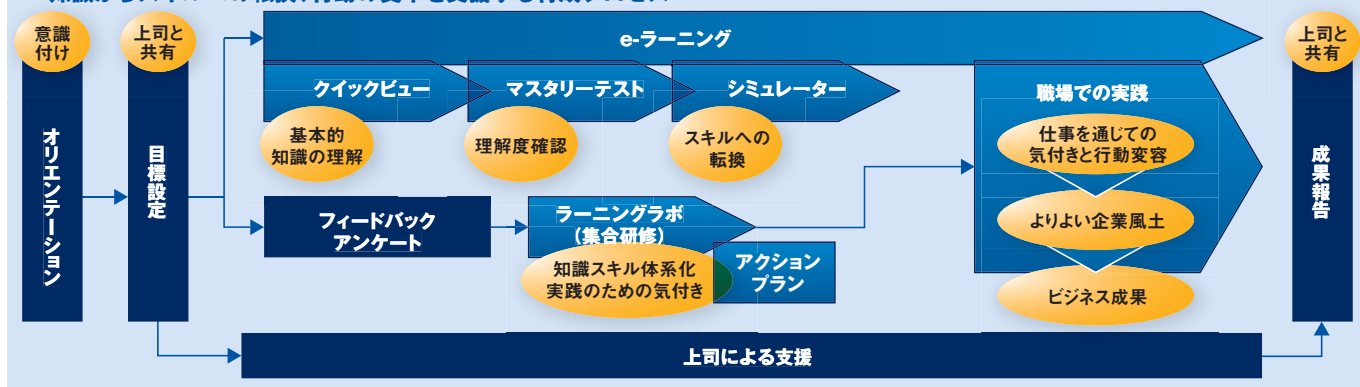
IBM Management Development Programは、マネージャーに必要なリーダーシップやピープル・マネジメントにおける、基本的・普遍的かつ

重要な知識・スキルを体系的に習得し、リーダーにふさわしい行動様式を身に付けることを支援します。求められるリーダー人財像に基づき、継続的に行動を変革することによって、リーダーシップとマネジメント力の強化を行い、会社全体での企業風土の強化と企業価値観の共有を推進します。

■ リーダー、マネージャーに求められる3要素を5つのテーマとして体系化



■ 知識からスキルへの転換、行動の変革を支援する育成プロセス



IBMの人財育成活動は、
専門誌から高い評価を
獲得しています

IBMは人財育成・開発において権威あるTraining magazineで最優秀賞を受賞！(2004/2005 2年連続)
特に3つの視点から高い評価を得ています

- オンデマンド・ラーニング
- 企業文化変革
- ラーニングを職場に取り込む仕組み (Future of Learning)



IBM、IBMロゴは、IBM Corporationの商標。
他の会社名、製品名およびサービス名等はそれぞれ各社の商標。



IBM ビジネスコンサルティング サービス株式会社

〒100-6318 東京都千代田区丸の内2-4-1 丸の内ビルディング18階
TEL: 03(6250)8500(代)
URL: <http://www.ibm.com/bcs/jp/>
03-07 Printed in Japan

●当資料において、IBMとはInternational Business Machines Corporation、またはその支配下にある企業を含む企業体を意味します。●掲載された情報は2007年3月現在のものです。